

11 . 国際競技大会への代表選手団等の派遣

(1) 第 1 2 回世界選手権大会

日本・広島市中央庭球場に於いて 平成 1 5 年 1 1 月 5 日 ~ 9 日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア . 選 手 団

団 長 横 江 忠 志 (強化委員長)
総 務 北 本 英 幸 (小松市立高等学校教諭)
男子監督 神 崎 公 宏 (三重高等学校教諭)
コ ー チ 齊 藤 広 宣 (松戸市役所)
トレーナー 川 上 晃 司 (スポーツインテリジェンス)
選 手 中 堀 成 生 (N T T 西日本中国)
高 川 経 生 (N T T 西日本中国)
花 田 直 弥 (京都市役所)
川 村 達 郎 (倉敷スポーツ公園)
浅 川 陽 介 (日本体育大学桜友会)
小 峯 秋 二 (富山県西部体育センター)
東 司 (京都市役所)
渡 邊 彦 継 (高田商業高校 O B クラブ)

女子監督 渡 部 政 治 (立志館広島高等学校長)
コ ー チ 若 梅 明 彦 (九十九里高等学校教諭)
トレーナー 宮 下 智 世 子 (野村病院)
選 手 玉 泉 春 美 (東芝姫路)
上 嶋 亜 友 美 (東芝姫路)
渡 邊 梨 恵 (N T T 西日本広島)
堀 越 敦 子 (N T T 西日本広島)
辻 美 和 (東芝姫路)
河野 加奈子 (ナガセケンコー)
濱 中 洋 美 (日本体育大学)
金 智 恩 (タカギセイコー)

イ . 参 加 国 アジア 日本、中国、韓国、モンゴル、カザフスタン、キルギスタン
中華台北、フィリピン、タイ、マレーシア、インドネシア、ネパール
インド、モルジブ、(カタールは役員参加)
ヨーロッパ イギリス、ドイツ、ロシア、チェコ、ハンガリー、
イタリア、スイス 北アメリカ カナダ、アメリカ
南アメリカ ドミニカ共和国、プエルトリコ、キュラソー、ブラジル
アフリカ ジンバブエ オセアニア オーストラリア
参加は 3 0 カ国・地域、 2 8 2 名

ウ．成績

金メダル 女子シングルス 河野 加奈子
銀メダル 男子シングルス 高川 経 生
女子ダブルス 玉 泉 春 美 ・ 上嶋 亜友美 組
銅メダル 女子シングルス 玉 泉 春 美
女子シングルス 渡 邊 梨 恵
女子ダブルス 金 智 恩 ・ 濱 中 洋 美 組
男子団体（中堀成生・高川経生・東 司・浅川陽介・小峯秋二・川村達郎）
女子団体（玉泉春美・上嶋亜友美・河野加奈子・辻 美和・濱中洋美・堀越敦子）
5 位 男子ダブルス（中堀成生・高川経生組、東 司・渡邊彦継組、
川村達郎・花田直弥組、浅川陽介・小峯秋二組）
5 位 男子シングルス（花田直弥、中堀成生）
5 位 女子シングルス（辻 美和）
5 位 ミックスダブルス（高川経生・金 智恩組、東 司・上嶋亜友美組
小峯秋二・玉泉春美組）

（２）第１１回日・韓・中ジュニア交流競技会

韓国チェジュ市（済州島）の蓮淀テニスコートに於いて、８月２３日～２８日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア．選手団

団 長 朝 倉 文 人 （鴻巣高等学校校長）
男子監督 北 本 英 幸 （小松市立高等学校教諭）
女子監督 中 本 裕 二 （NTT西日本中国）
視 察 員 小野寺 剛 （巣鴨高等学校教諭）
男子選手 鬼 頭 貴 之 （三重高等学校） 大 賀 紘 平 （三重高等学校）
玉 川 裕 司 （三重高等学校） 北 見 和 大 （岡山理科大学附属高等学校）
上 嶋 俊 介 （岡山理科大学附属高等学校） 長 江 光 一 （岡山理科大学附属高等学校）
女子選手 田 畑 有 加 （立志館広島高等学校） 加 藤 姿 絵 （立志館広島高等学校）
笹 内 多 恵 子 （立志館広島高等学校） 谷 岡 布 美 （札幌龍谷学園高等学校）
杉 本 瞳 （就実高等学校） 大 庭 彩 加 （就実高等学校）

イ．参加国 日本、韓国、中国、および済州（開催地）

ウ．成績 男女とも２位（いずれも韓国に敗れる）

（３）第３回チャイニーズカップ国際ソフトテニス大会（上海）

中国ソフトテニス連盟主催の第３回チャイニーズカップ国際ソフトテニス大会は、８月１５日から１７日まで上海市で開催される予定であったが、SARSの影響により日本選手団の派遣を見合わせた。結果として今回の大会は中止された。

12. 国際普及の促進に関する事業

(1) 海外長期滞在指導者の派遣

イタリア連盟からの要請により、平成14年2月から森永 操さん(佐賀県、日体大卒)をイタリア・ローマに派遣し、平成15年度も引き続き現地に滞在しイタリア連盟の全面的な協力の下にローマおよびその近郊の中学校での授業を中心にジュニアへのソフトテニスの指導と普及にあたっていたが、11月の広島世界大会にイタリアチームコーチとしての参加を最後に本人の意志もあり、派遣を終了した。そのほか、海外滞在中の松本雅男氏(カナダ・トロント市滞在)、武井紀明氏(インドネシア・ジャカルタ市滞在)を派遣指導者として昨年度から継続認定した。

(2) ヨーロッパジュニア交流大会(ハンガリー・ブダペスト市)にジュニアチームを派遣

ハンガリー連盟の主催により、ヨーロッパジュニア交流大会がブダペスト市で開催され、日本から6月26日から7月2日まで引率者1名と中学校選手4名(桐田中女子2名・大森七中男子2名)計5名をゲスト派遣した(原則自己負担)。大会はハンガリー、スイス、日本の参加により6月28日・29日の両日、団体戦と個人戦が行われた。

(3) イタリア(ローマ)・ハンガリー(ブダペスト)にジュニアチームを派遣

昨年に引き続き本年度も中学校生徒4名(大磯中男子2名・女子2名)および引率者1名を8月26日から9月2日までヨーロッパに派遣した。一行は26日から28日までローマに滞在してローマ、カステルガンドルフォの中学校生徒とソフトテニスを行い、普及と交流を行った。その後、29日にハンガリー・ブダペストに移動し、30日・31日の両日、ハンガリー、イタリア、日本の3国によるジュニア交流を行い、9月2日に帰国した(原則自己負担)。

(4) ヨーロッパ各国への普及指導

第12回世界選手権大会への参加要請とヨーロッパにおける今後のソフトテニス普及計画を打ち合わせのため、西村副会長(ISTF事務総長)、丹崎健一(国際委員)(ナガセケンコー田辺 理氏が同行)をヨーロッパに派遣し、次の各国を訪問し各国幹部と打ち合わせを行った。なお、8月30日・31日にはハンガリー滞在の玉木 進氏と合流し、ブダペスト市で開催されたヨーロッパジュニア交流大会を視察し、大会役員・選手を激励した。

8/29 ハンガリー(西村・丹崎・玉木)

8/30 ハンガリー(丹崎) チェコ(西村・玉木)

8/31 ハンガリー(西村・丹崎・玉木)

9/2・3 イギリス(西村・丹崎・田辺)

9/4・5 イタリア(丹崎・田辺)

9/6 スイス(丹崎・田辺)

9/7・8 ドイツ(丹崎・田辺)

(5) 用具・用品の支援

次の各国にラケット・ボールの支援を行った。

《ラケット》ハンガリー、モンゴル、ネパール、インド、オーストラリア、イタリア、スイス、アメリカ、ドイツ、マレーシア、カザフスタン、カナダ、チェコ、マカオ、ジンバブエ、カタール、ドミニカ共和国、フィリピン、ロシア

《ボール》ハンガリー、モンゴル、ネパール、インド、オーストラリア、イタリア、アメリカ、ブラジル、ベネズエラ、キュラソー、ドミニカ共和国、ドイツ、スイス、マレーシア、タイ、カザフスタン、カナダ、チェコ、マカオ、ジンバブエ、カタール

13. 国際大会の開催促進に関する事業

(1) 第4回東南アジアソフトテニス選手権大会開催を支援

3月26日から28日までインドネシア・ジャカルタ市において第4回東南アジアソフトテニス選手権大会が開催され、インドネシア連盟からの要請を受けスポンサーの確保、用具等の提供および東南アジア各国への参加呼びかけ等これを支援した。

(2) 2004年第5回アジア選手権大会の実施に向けて、タイチェンマイを視察

タイ連盟の要請を受け1月23日から26日まで西村副会長（アジア連盟事務総長）、星野 博（国際委員長）、丹崎健一（国際委員）、若梅明彦（ナショナルチーム女子コーチ）をタイ・チェンマイに派遣し、会場視察および大会要項等の具体的な協議を行った。

(3) 2005年マカオ東アジア競技大会ソフトテニス競技実施を促進

ア．マカオ関係者を招聘

マカオ組織委員会およびソフトテニス関係者3名を1月8日から12日まで東京に招聘し、全日本東京インドア大会および審判研修会を視察した。また、大会実施に向け大会要項、運営、選手育成などの打ち合わせを行った。

イ．マカオへの指導者派遣

2月27日から3月1日まで星野 博（国際委員長）および今井史郎（ルール部会長）をマカオに派遣し、現地関係者の指導および競技内容等の打ち合わせを行った。

ウ．マカオからの研修受け入れ

マカオソフトテニス連盟関係者4名を3月30日から4月6日まで招聘し、千葉白子町での日体大研修会への参加および全日本女子選抜大会の視察を行い、かつ、今後の計画について打ち合わせを行った。

(4) 2006年第15回ドーハアジア競技大会ソフトテニス競技実施に向け、

ドーハ（カタール）視察

開催地カタールのドーハ組織委員会から招聘を受け、3月26日から29日まで西村副会長（アジア連盟事務総長）、星野 博（国際委員長）、丹崎健一（国際委員）をドーハに派遣し、会場視察、承認と競技内容の具体的な協議を行った。